

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年三月度 入選句 (投稿総数三千三百七十四句・小中学投句数二千八百四十六句)

### 特選

春風が私の心をつつみこむ 大垣市 志知 亜衣琉(中一)

「私の心をつつみこむ」が、いいですね。作者は、春の訪れを心待ちにしているのです。「春風は南の方から吹く暖かくおだやかな風をいいます。その春風を全身に受け、春を待ちわびる私の心をもつつんでくれたというのです。春到来のよろこびの気持ちが伝わってくる一句です。

おひさまのにおいがしたよはるだなあ 大垣市 伊藤 杏(小二)

「はるだなあ」がいいですね。はるを作者は、おひさまのにおいから、かぎ取ったのです。春の日ざしを受けて、その暖かさが自分の身にまとった衣服から肌身まで伝わって来たのです。一年生とは思えないほど表現が巧みで見事です。ひらかなばかりで一句に仕上げたところも、読み手を引き付けます。

卒業式最後の名前涙出る 美濃加茂市 田中 万愛(高二)

「最後の名前涙出る」の表現が、読み手にいろいろな想像をかき立ててくれます。「最後の名前」から、皆さんはどんな想像をしますか。卒業証書を受け取る呼名の順番が、最後に回って来たのです。中学校生活を終える卒業式、自分の名前が、最後に呼ばれた感激を「涙出る」で括ったところが、共感を呼びます。

### 秀逸

我が想い桜に似たる淡き恋 美濃加茂市 豊田 彩華(高一)

おはなみはおにぎりたべておいしいな 大垣市 あさの ことね(小二)

とりのすにたまごがみつつかくれてた 大垣市 臼井 丞助(小二)

小学校最後の授業は卒業式 大垣市 佐竹 美仁(中一)

光ってる春まん月がぼんやりと 大垣市 伊藤 美紅(小四)

たんぽぽのわた毛フワフワパラシート 大垣市 わたなべ しおり(小四)

つくしんぼびよんと頭がつき出した 大垣市 小川 誠悟(小三)

おひな様ぼくもいっしょにすまし顔 大垣市 川地 こうき(小四)

たんぽぽが並んでゆれて歌ってる 大垣市 高橋 海月(中一)

めぶきだすきぎの緑がまぶしいね 大垣市 谷 はぐみ(中一)

入選

かんすずめえさをさがしにやってきた 大垣市 やすだ とうや(小二)  
 桜舞う道で別れて手を離す 美濃加茂市 林 真衣(高二)  
 卒業だ期待と不安胸の中 美濃加茂市 福岡 麻希(高一)  
 ありがとう最後にかわした卒業式 美濃加茂市 小椋 千穂(高一)  
 桜舞い花びら私を祝ってる 美濃加茂市 渡辺 そら(高一)  
 いそあそびかいをいっばいひろいたい 大垣市 たけなかりあな(小二)  
 おもちがねぷくつとたんこぶつくったよ 大垣市 田邊 葉奈(小二)  
 しもばしらしい音がしたパリパリと 大垣市 こんどう なるき(小二)  
 桜咲き小学校とおわかれだ 大垣市 棚橋 花音(中二)  
 ふもとから山の上まで桜咲く 大垣市 茂木 颯馬(中二)

入選

花ふぶきわたしもいっしょにまい上がる 大垣市 辻井 美葵(小四)  
 図工の絵入せんしたよ山わらう 大垣市 岩永 丈太郎(小四)  
 ねこのこいしつぽをからませかわいな 大垣市 かのう りゆ(小三)  
 にわそうじくさにまぎれてふきのとう 大垣市 松本 あまね(小三)  
 さくらさきさんねんせいにゆめいなく 大垣市 林田 友ゆ(小三)  
 花ふんしょう耳び科へ行ったら人いっばい 大垣市 高橋 功多(小三)  
 うめの花かおりがにわを一人じめ 大垣市 あらい ひなた(小三)  
 つばめたちかえってきたようれしいな 大垣市 船戸 まほ(小三)  
 たんぼぼの黄色いじゅうたんどこまでも 大垣市 川地 こうき(小四)  
 しゃぼんだまわれずにどこまでいけるかな 大垣市 杉田 圭祐(小四)

選者吟

初蝶や趨震はせて舞ひあがり

幹 郎